

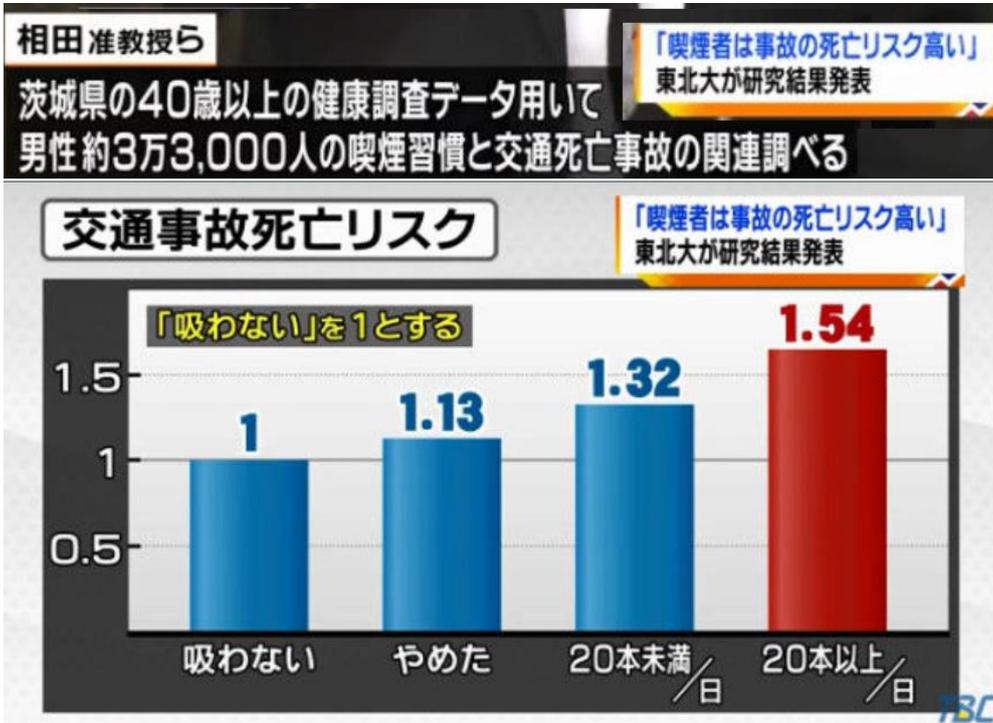
週刊 **タバコの正体**

東北大学大学院歯学研究所の調査によると喫煙者は交通事故での死亡リスクが高い事がわかったそうです。左図のとおり茨城県の40歳以上の男性約3万人3000人を追跡調査した結果だと公表されています。

確かに喫煙中は片手運転になりがちで、紙巻タバコの場合は火のついたものを持っているのですから、とっさのハンドル操作に支障がでるとだろうと想像できます。

現代社会は多くの場所が禁煙となってきたので、喫煙者にとってはクルマの中は落ち着く喫煙空間なのかもしれませんが、交通事故の危険性が増す事をぜひ認識しておいて欲しいと思います。

そして、日常的に喫煙が繰り返されている狭い閉ざされた車内は、当然ながらタバコのヤニやニオイがしみついてしまいます。タバコを吸わない人にとっては、そんな車内のニオイを想像するだけで不愉快な気分になり乗車したくないでしょう。ましてや、そんなニオイがしみついた車を購入しようとは思わないはずです。という事で、下図にあるように喫煙車は中古車としての査定額が低くなります。



TBC 東北放送 ニュース画面から



Gulliver 「クルマの基礎知識」 サイトから

皆さんが自分のクルマを持ち日常的に運転するようになるのはまだ先になりますが、将来のために、こんな事情も知っておいて下さい。そして、タバコを吸い始めないで下さい。

産業デザイン科 奥田恭久